



ユーザーマニュアル

Elo Touch Solutions

3201L 32型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

4201L 42型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

7001L 70型 インタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニター

インタラクティブ デジタルサイネージ コンピュータモジュール

SW601999 改訂A版

Copyright © 2012 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

事前にElo Touch Solutions, Inc.社の許可書を取得しないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動などで複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語などへの翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています（但し、必ずしもこれらに限定されません）。

責任放棄声明

この文書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。Elo Touch Solutions, Inc. 及びその関連会社（まとめて、「Elo」と呼ぶ）では本書の内容に関して明言あるいは保証、特に、特定目的の暗黙の商品性あるいは適切性の保証はしません。TE は時折本書記載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、TE はそのような改定あるいは変更に関する通知をする責任はありません。

登録商標承認

AccuTouch、CarrollTouch、Elo（ロゴ）、Elo Touch Solutions、Elo TouchSystems、IntelliTouch、iTouchはElo およびその関連会社の商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの商標です。

もくじ

第1章 - はじめに.....	4
第2章 - 開梱.....	5
第3章 - タッチモニターのインストール.....	7
第4章 - コンピュータモジュールのインストール.....	9
第5章 - 取り付け.....	13
第6章 - 操作.....	16
第7章 - 技術サポート.....	26
第8章 - 安全&保守.....	27
第9章 - 規制情報.....	29
第10章 - 保証情報.....	31

第1章 – はじめに

製品説明

お買い上げのインタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニターはEloタッチソリューションの信頼できる性能と、タッチスクリーン技術とディスプレイデザインの最新開発をあわせたものです。このような機能を組み合わせることによってユーザーとタッチモニター間で情報が自然に流れるようになります。

本タッチモニターは24ビットカラー、アクティブマトリックス薄膜トランジスタ、デジタルサイネージLCDパネルを組み込み、優れたディスプレイ性能をご提供しています。フルHD解像度1920x1080は画像や映像の表示に適しています。LCDモニターの性能を強化するその他の機能としてプラグ&プレーの互換性、内蔵スピーカーとヘッドホンの出力能力、オンスクリーン表示 (OSD) 制御用リモート、デジタルサイネージ コンピュータモジュール群があります。

コンピュータモジュールはモニター裏面のベイにスライドするように設計されており、モニターのフォームファクターに影響したり余間にケーブルを必要としたり、インタラクティブ デジタルサイネージタッチモニターをインタラクティブ デジタルサイネージ オールインワン TouchComputerに変える必要はありません。

注意事項

装置をより長く使用してユーザーの安全性に関する危険を防止するため、本取扱説明書の全ての警告、注意、保守手順を遵守してください。タッチモニターの安全性については第8章を参照してください。

健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくとも2名以上で取り行うように強くお勧めします。

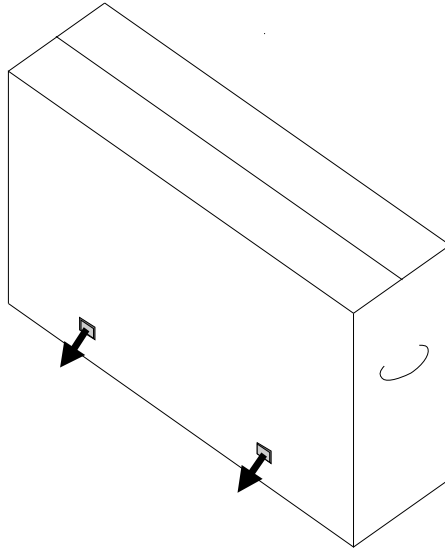
本説明書にはインタラクティブ デジタルサイネージ タッチモニターとコンピュータモジュール (任意) の適切なセットアップと保守に関する大切な情報が記載されていますので、特に、インストール、取り付け、操作の章を注意してお読みになってから、タッチモニターとコンピュータモジュールをセットアップして電源を入れてください。

第2章 – 開梱

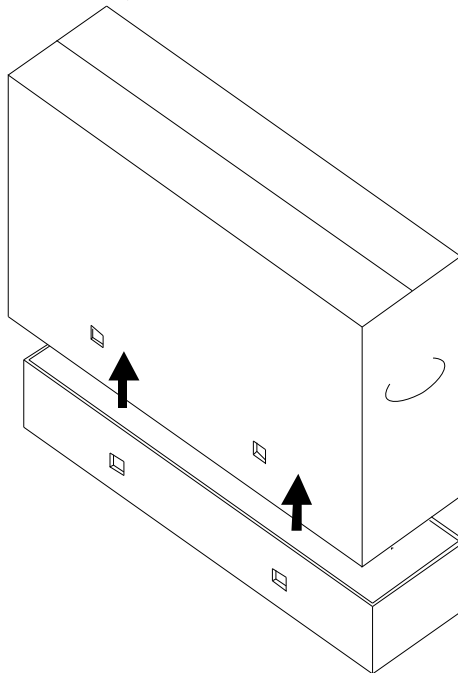
タッチモニターの開梱

タッチモニターを開梱するには、次のステップに従ってください。

1. 箱はラベルに従って正しい方向に置くようにしてください。プラスチック製のヒンジロックは「底面」に来るようにしてください。
2. 箱を開けて、プラスチック製のヒンジロック4個をすべて取り外してください。7001L装置にはヒンジ付きプラスチック製ロックが6個あります。



3. ロックを外したら、箱の上ぶたを下枠から持ち上げて外します。



4. 上ぶたを取り外したら、タッチモニターと同梱の付属品にアクセスできます。

注記：健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくとも2名以上で取り行うように強くお勧めします。 EloではOSHA/NIOSHガイドラインに記載の安全に持ち上げるためのテクニックを利用することをお勧めします。

以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。

- タッチモニター
- ユーザーマニュアルCD
- クイックインストールガイド
- ケーブル
 - HDMI、USB、北米用ケーブル、欧州/韓国用電源、英国用電源、アルゼンチン用電源、台湾用電源、中国用電源、韓国用電源、日本用電源および日本用3ピン-2ピン変換アダプター
- ケーブルカバーのネジはケーブルカバーに付いています。

デジタルサイネージ コンピュータモジュールの開梱

箱を開けます。

以下の品が揃っているか、良い状態であるかを確認してください。

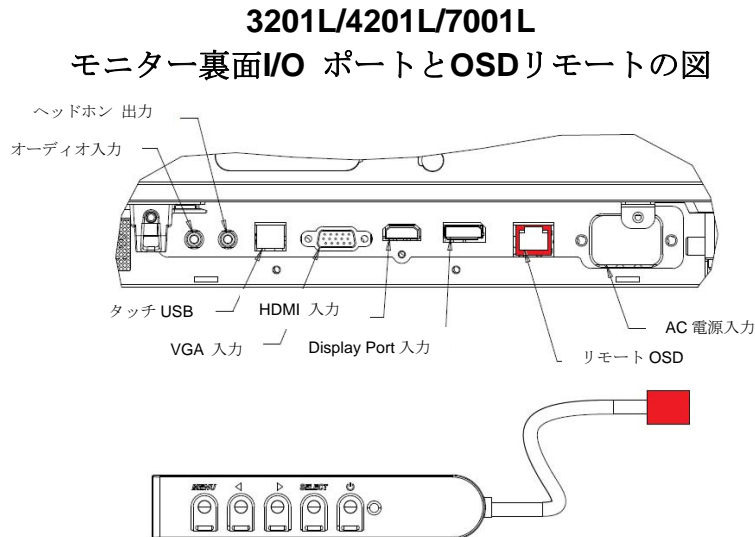
- デジタルサイネージ コンピュータモジュール
- クイックインストールガイド
- ケーブルカバー
- ユーザーマニュアルCD

第3章 – タッチモニターインストール

コネクタパネル & インターフェース

裏面底部（横方向から見た場合）のケーブルカバーを取り外して、タッチモニターのコネクタパネルにアクセスします。

コネクタパネルとインターフェースの図。OSD接続は赤です。



外部コンピューターとのタッチモニター接続

1. モニターとビデオ源の間を**HDMI** ケーブルで接続します。
2. モニターとコンピューターの間を**USB** タッチケーブルで接続します。
3. 上記の赤で表示のリモート**OSD** コネクタを通してリモートオンスクリーン表示 (OSD) を接続します。
4. お住まいの地域に適切な電力ケーブルを選択します。**AC** 電源とタッチモニターの電源入力コネクタを選択した電力ケーブルで接続します。
5. タッチモニターはオン状態で出荷されます。リモート**OSD** を使ってオンスクリーン表示メニューにアクセスします。

タッチスクリーン技術ソフトウェアドライバのインストール

Elo Trayが利用できる機能をすべて利用するには、IDS 01シリーズタッチモニターにElo Touchドライバソフトウェアのインストールが必要です。

注記：光学式タッチモニターはEloタッチドライバだけで作動しますが、Eloタッチ機能は使えません。Eloタッチモニターの性能を最大限に発揮するには、Eloタッチドライバをインストールすることをお勧めします。

以下の場合にはElo Touch Solutions ウェブサイトwww.elotouch.com をご覧ください。

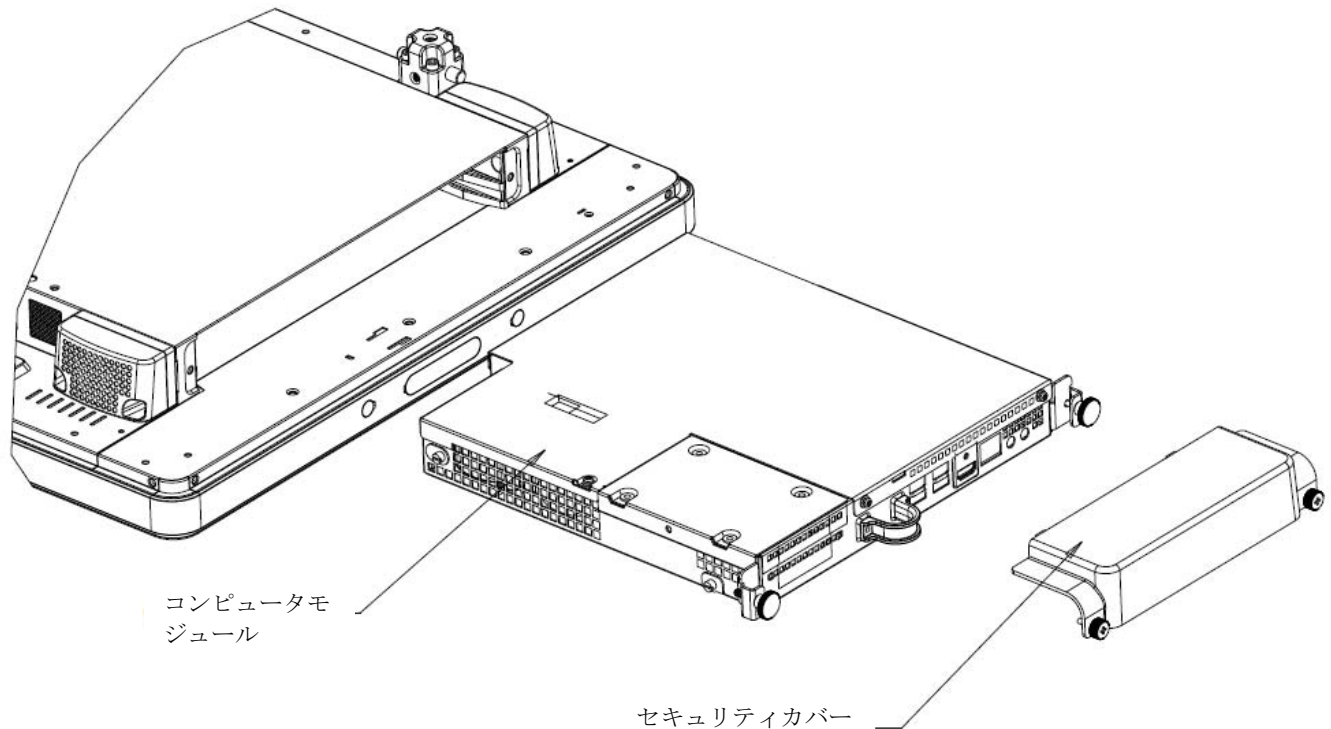
- Elo タッチドライバのアップデート
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- その他のオペレーティングシステムのタッチドライバ

第4章

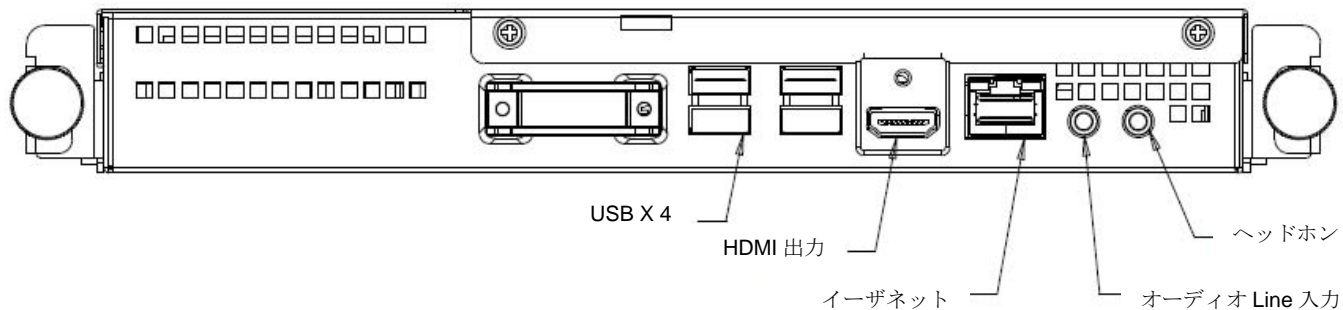
コンピュータモジュールのインストール

インストール

1. プラスドライバーを使ってタッチモニター裏面のアクセスカバープレートを外します。
2. 所定の位置でカチッとなるまでコンピュータモジュールをベイにスライドします。
3. コンピュータモジュールがベイで安定するように蝶ネジを締めます。
 - a. ケーブルがコンピュータモジュールに接続している場合、ケーブルセキュリティカバーはコンピュータモジュールキットに入っています。コンピュータモジュールのユーザーガイドに表示のように取り付けクリップとブラケットをインストールしてから、カバーに蝶ネジを締めます。



コネクターパネル&インターフェース



タッチモニター&コンピュータモジュールの接続

1. タッチモニターの電源ボタンを2秒間押したままにしてコンピュータモジュールをオンにします。

オペレーティングシステムのセットアップ

Windows® 7オペレーティングシステム

オペレーティングシステムの初期設定はおよそ5本かかり、別のタッチコンピュータのハードウェアやオペレーティングシステム構成にはさらに時間が必要です。これらのステップを実行するには、外付けマウスやキーボードをコンピュータモジュールのコネクターパネルに接続する必要があります。

コンピュータモジュールのWindows 7をセットアップするには、タッチコンピュータをオンにしてスクリーンの指示に従ってください。

言語の選択

Windowsはメニューやダイアログボックスのデフォルト言語として英語を使用していますが、お好みに合わせてこの言語を変更できます。

Customize (ユーザー定義) をクリックすると、「Regional and Language Options (地域と言語オプション)」ウィンドウが表示されます。Languages (言語) タブを選択して、必要な場合は「Install files for complex script and right-to-left languages (複合文字や右から左方向へ書く言語のファイルをインストールする)」と「Install files for East Asian languages (東アジア言語のファイルをインストールする)」のボックスをチェックしてください。

「Regional Options (地域オプション)」タブを選択し、「Standards and Formats (標準と形式)」枠のドロップダウンリストからお好みの言語を選択します。

「Locations (場所)」枠のドロップダウンリストから場所を選択します。Apply (適用) をクリックしてOKをクリックします。

コンピュータ名の選択

コンピュータの名前を入力するように指示があります。

Windows Update設定の選択

Windows Update設定を選択するように指示があります。

時間帯の選択

次のウィンドウが表示されたら、コンピュータモジュールの時間帯、日付、時間を変更できます。変更を終えたら、Next (次へ) をクリックして終了します。Windows SetupによってOSインストールを完了します。

Windows 7のタッチスクリーン技術ソフトウェアドライバをElo コンピュータモジュールにインストール

次の場合、Elo Touch Solutionsのウェブサイトwww.elotouch.comをご覧ください。

- タッチドライバの最新版
- タッチドライバの追加情報
- タッチドライバのインストール詳細ガイド
- 別のオペレーティングシステムのタッチドライバ

コンピュータモジュールはコンピューターにElo Touchドライバがすでにインストールされています。コンピュータモジュールドライバパックに同梱のこのタッチドライバはコンピュータモジュールに同梱のCDでご利用いただけます。

オペレーティングシステムのセットアップ - OSなし

ノーオペレーティングシステム (OSなし) 装置にはオペレーティングシステムをインストールする必要があります。

OSイメージをコンピューターにインストールすると、システムが利用可能なドライバを自動的にインストールするようにしてください。最新Elo Touchドライバは上記のウェブサイトですべてダウンロードできますので、コンピューターにドライバをインストールするか、コンピュータモジュールに同梱されているCDを使ってタッチドライバやコンピュータモジュールドライバパックにアクセスします。

第3章の説明を参照してください。

第5章 – 取り付け

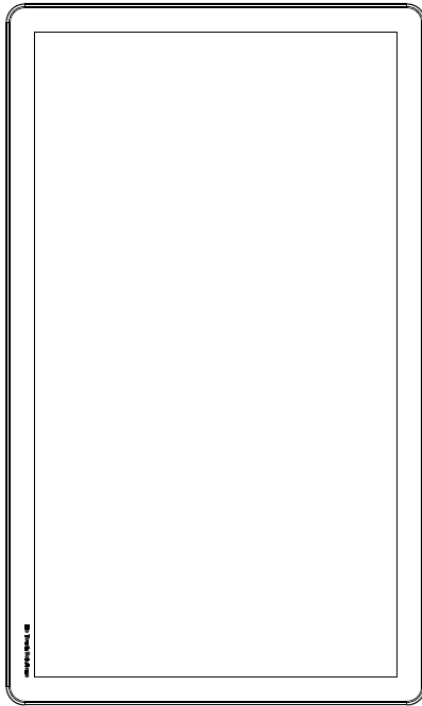
注記：健康や安全のために、タッチモニターを持ち上げたり移動する際には少なくとも**2名以上**で取り行うように強くお勧めします。

注記：(取り付けブラケットやスタンドを取り付けるために) 表示面を下にして置くときは、表示面のガラスを引っかいたり傷つけないように保護してください。表示面をザラザラした面に置かないようにするか、膜やフォームで表示面を保護してから実施してください。

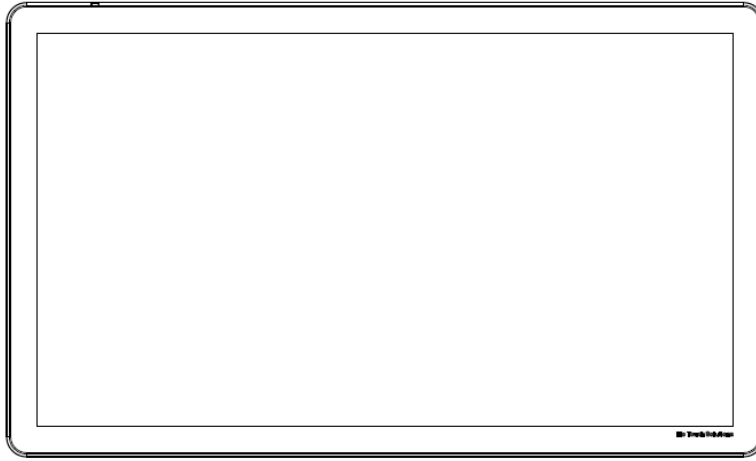
取り付け一般情報

横方向と縦方向の二つの取り付け方向が制限傾斜範囲付きで対応します。

3201L / 4201L / 7001L :



縦方向



横方向

背面ベースマウント

32型および42型モデルの場合：

モニターの背面に4穴、400x200mmの取り付けパターンがあります。

VESA FDMI規格対応の取り付けコード：VESA MOUNT PER MIS-F、400、400、6MM

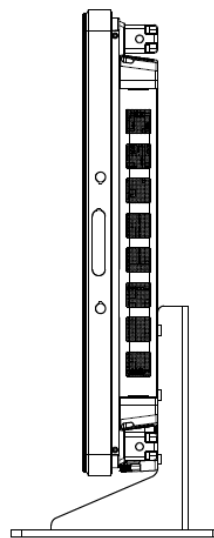
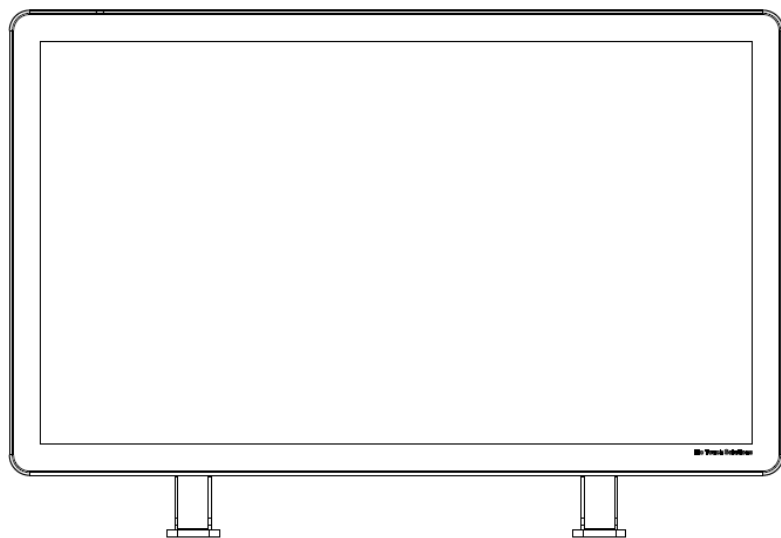
70型モデルの場合：

モニターの背面に4穴、400x400mmの取り付けパターンがあります。

VESA FDMI規格対応の取り付けコード：VESA MOUNT PER MIS-F、400、400、8MM

寸法図面については、www.elotouch.comを参照してください。

任意のスタンド (3201L / 4201Lのみ)



第6章 - 操作

電源

タッチモニターをオン/オフにするには、タッチモニターの電源ボタンを一度押してください。コンピュータモジュールがモニターにインストールされている場合、コンピュータモジュールはモニターでもオンになります。

コンピュータモジュールやタッチモニターの電源を突然オフにするには、タッチモニターの電源ボタンをX秒間押し続けます。

コンピュータモジュールの電源を丁寧にオフにするには、コンピュータモジュールオペレーティングシステムの平常の電源を切る手順に従ってください。

OSDリモートの電源表示盤LEDは以下の表に従って機能します。

TouchMonitor/コンピュータモジュールのステータス	LED ステータス
OFF (オフ)	OFF (オフ)
SLEEP (スリープ)	BLINKING (点滅)
ON (オン)	ON (オン)

装置がSLEEP (スリープ) やOFF (オフ) モードのときは電力消費量が低くなります。電力消費の仕様詳細に関しては、Elo ウェブサイトwww.elotouch.com の技術仕様を参照してください。

スクリーンをタッチすると、装置がSLEEP (スリープ) モードから切り替わります (マウスを移動したり、キーボードのキーを押したりしたときと同様に)。

長い間使用しないことが分かっているときにAC電源ケーブルを外すようにしてください。

IntelliTouch タッチスクリーン技術

IntelliTouch タッチスクリーンは必要な場合は、Elo ドライバコントロールパネルの較正機能を通して表示のビデオ画像に合わせて再較正できます。

ビデオ源が回転しているときは較正が必要です。

iTouch / iTouch+ タッチスクリーン技術

iTouch and iTouch+ touchscreens タッチスクリーンは必要な場合は、Elo ドライバコントロールパネルの較正機能を通して表示のビデオ画像に合わせて再較正できます。

ビデオ源が回転しているときは較正が必要です。

任意のタッチスクリーン技術

Windows 7コンピュータに接続の場合、タッチモニターは4点同時タッチに反応します。

画像のジェスチャー：

IntelliTouchとiTouchのスクリーンでは、以下のジェスチャーが可能です。

シングルタッチジェスチャーとその機能：

スワイプ - ひとつの絵から別の絵にスワイプしたり、アイコンをドラッグする能力。

iTouch Plusと光学式タッチパネルでは次が可能です。

デュアルタッチジェスチャーとその機能：

スワイプ - スクリーン上で指を動かす動作。

- ひとつの絵から別の絵にスワイプしたり、アイコンをドラッグする能力。

ピンチ\拡大表示 - スクリーン上に指2本置いて、指を近づけてズームインする。指を離してズームアウトする。

- 絵をズームインしたりズームアウトする。

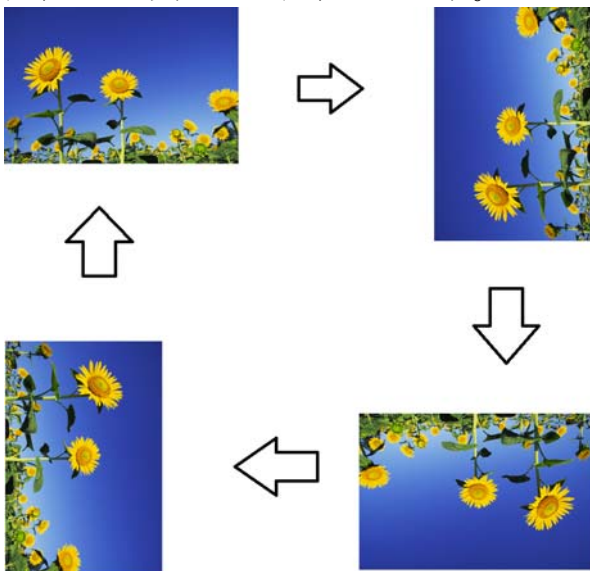


拡大表示前



拡大表示後

回転 - 写真は360°回転できます。



上記のジェスチャーに加えて、光学式装置は4点同時タッチに対応しているため2枚の絵を同時につまんで拡大表示できます。

ビデオ

LCD パネルのネイティブ解像度はその幅と高さがピクセル数で測定されます。

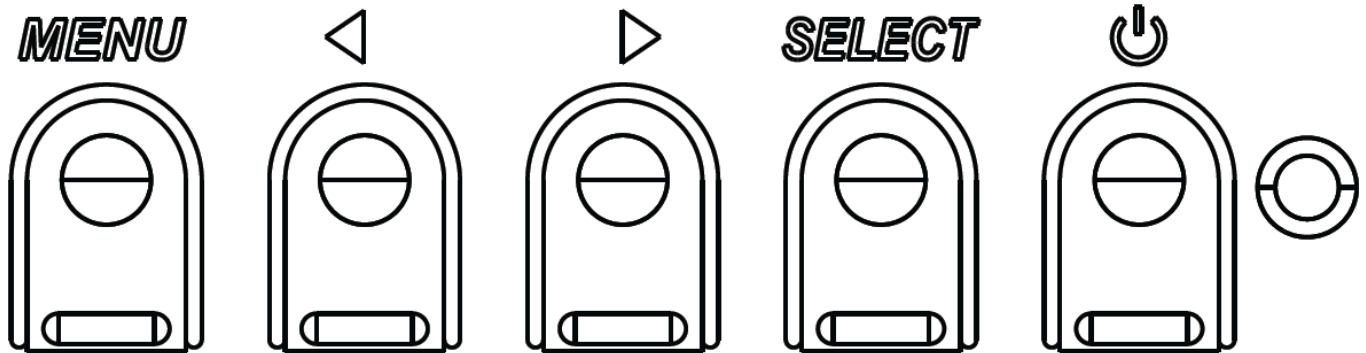
コンピュータの出力解像度がLCDパネルのネイティブ解像度に一致する場合に、LCDモニターに表示の画像が最高の状態でご覧いただけます。タッチモニターのネイティブ解像度については、Eloウェブサイト www.elotouch.com の表示仕様をご覧ください。他の解像度で作動するとビデオ性能が低下するので、お勧めしません。

ネイティブ解像度以外の解像度で出力するコンピュータの場合、モニターはパネルのネイティブ解像度に画像を縮小拡大します。入力ビデオ解像度が小さい場合は入力画像を X 軸や Y 軸に「引き伸ばし」してパネルに適合させます。入力ビデオ解像度が大きい場合は入力画像を X 軸や Y 軸に「圧縮」してパネルに適合させます。縮小拡大アルゴリズムの必至副産物は、コンピュータのビデオ画像を表示に合わせてモニターが縮小拡大したときに忠実性を失うことです。この忠実性の喪失は近距離で機能豊富な画像を閲覧するときに最も如実に現われます(例えば、フォントが小さな文字を含む画像など)。

お求めのタッチスクリーンはビデオ調整を必要とする可能性はあまりありませんが、アナログ VGA ビデオの場合、ビデオグラフィックカードの出力変化に対応するには、ユーザーが OSD を通して調整してタッチモニターの表示画像の質を最適化する必要があります。これらの調整はタッチモニターに「保存」されます。さまざまなビデオモードのタイミングを調整する必要性を減らすために、モニターがビデオ業界で最も一般的なビデオタイミングのモードに正しく縮小拡大して表示されます。

RJ45接続に接続のオンスクリーンディスプレイ (OSD)

OSDリモートには5つのOSDボタンがあります。LEDライトはモニターの現在の状態を表示します。以下は指定ボタンに関する機能です。



ボタンとその機能は以下の表の通りです。

ボタン	OSDが表示されていないときの機能：	OSDが表示されているときの機能：
Menu (メニュー)	OSDの主要メニューを表示する	前のOSDメニューに戻る
◀	OSDオーディオ源サブメニューを表示する	選択したパラメーター値を減らす/次のメニュー項目を選択する
▶	ビデオ源を変更するホットキー*	選択したパラメーター値を増やす/前のメニュー項目を選択する
Select (選択)	オーディオ/ビデオパラメーターメニューを表示する	調整パラメーターを選択する/サブメニューを選択して入力する
⏻	モニターの電源	モニターの電源状態をトグルする

*ユーザーはホットキーで入力ビデオ源を素早く変えることができます。ユーザーが間違っこのキーを押した場合は、メニューボタンを素早く押してビデオ源の変更をキャンセルします。

OSDボタンを使って入力ビデオの上に表示するオンスクリーンのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを制御し、以下の表示パラメーターの直感的調整が可能になります。

パラメーター	利用可能調整
Video Setting (ビデオ設定)	ユーザーがビデオ源を切り替えてモニターのビデオを出力できる。
Image Setting (画像設定)	ユーザーが水平位置、垂直位置、クロック、位相を変更できる。 VGAを選択すると、自動調整機能を使用できる。
Aspect Ratio (アスペクト比)	最大表示とアスペクト比表示の間でスケーリング法を切り替える。 初期設定：最大表示 最大表示 - 入力ビデオのX軸とY軸（必要に応じて上あるいは下）をスケールしてネイティブ解像度に表示する。 アスペクト比の維持 - 横方向とアスペクト比が16:9以下の入力ビデオと仮定し、入力ビデオのY軸（必要に応じて上あるいは下）をスケールしてY解像度を表示し、X軸をスケールしてアスペクト比を維持する（左右を均等なブラックバーで残りの表示を埋める）。 - 入力源比がパネルのネイティブ比と同じ場合はこの機能は機能しない。 直接出力 - 入力源は出力源と同じで、画像はスクリーン中央に表示される。スケーリングは行われない。 オプションを切り替えるときは再較正が必要かもしれない。
HDMI	HDMIビデオがモニターに表示される。
VGA Port (VGAポート)	VGAビデオがモニターに表示される。
Display Port (表示ポート)	DisplayPortビデオがモニターに表示される。
Elo Computer Module (Eloコンピュータモジュール)	ECM DP - DisplayPort は、Eloコンピュータモジュールの標準ビデオ出力である。 HDMIビデオ入力が見つかったら、ビデオ源を切り替えることができる。
Black Level (黒レベル)	VGAが接続されていない場合は、黒のレベルを変えることができる。
Light Sensor (光センサ)	光センサのトグルをオン/オフにする。光センサが使用可能なときは輝度は手動で変更できない。
Brightness (輝度)	モニターの輝度を増減する。 初期設定：65
Contrast (コントラスト)	モニターのコントラストを増減する。 初期設定：50
Clock (クロック)	パネルのピクセルドットクロックの微調整をする。 HDMI/DisplayPortビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。
Phase (位相)	パネルのピクセルドットクロック位相の微調整をする。 HDMI/DisplayPortビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。
Auto Adjust (自動調整)	入力アナログVGAビデオシグナルにシステムクロックを自動的に調整し、水平位置、垂直位置、クロック、位相メニュー項目に影響を及ぼす。 HDMIビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。

H-position (水平位置)	1ピクセルごとに画像を表示部の水平に移動する。 初期設定：中心 <i>HDMI/DisplayPort</i> ビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。
V-position (垂直位置)	1ピクセルごとに画像を表示部の垂直に移動する。 初期設定：中心 <i>HDMI/DisplayPort</i> ビデオあるいはコンピュータモジュールを使用する場合は該当しない。
Sharpness (鮮明さ)	表示画像の鮮明さを調整する。 初期設定：鮮明さ調整なし
Color Temperature (色温度)	表示の色温度を選択する。利用可能な色温度は9300K、7500K、6500K、5500K、およびユーザー定義。ユーザー定義のオプションが選択されたら、スケール0から100の個々のR/G/Bゲインを変更してユーザーが色温度を変更できる。 初期設定：R/G/Bゲインのユーザー定義をすべて100に設定する。
OSD Timeout (OSD タイムアウト)	この調整によって最後に押したボタンからOSDが閉じるまでのタッチモニターの待機時間を調整する。調整可能範囲は5～60秒。 初期設定：15
OSD Language (OSD言語)	OSD情報を表示する言語を選択する。選択言語：英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語。 初期設定：英語
Mounting (取り付け)	OSD文字を回転調整して取り付けの位置を一致する。 初期設定：横方向
OSD H-Position (OSD水平位置)	OSDの位置を表示部の左右に移動する。 初期設定：50 (中心)
OSD V-position (OSD垂直位置)	OSDの位置を表示部の上下に移動する。 初期設定：50 (中心)
Volume (音量)	内蔵スピーカーやヘッドホン出力の音量を調整する。
Mute (ミュート)	ミュートとミュート解除のオーディオ出力を切り替える。 初期設定：ミュート解除
Information (情報)	基本モニターの品番とシリアル番号を表示する。このメニューでは調整できない。
Recall Defaults (初期設定に戻る)	「Recall Defaults (初期設定に戻る)」を選択するとOSD調整可能パラメーター (OSD Language (OSD言語)とOSD Position (OSD位置)を除く) とプリセットビデオモードのタイミングを工場初期設定値に回復する。
Video Source (ビデオ源)	モニターはアクティブビデオをVGA、DisplayPort、HDMI、コンピュータモジュールからスキャンし続ける。この調整によって表示に優先度が与えられる入力ポートを選択する。 コンピュータモジュールが検知された場合、ビデオ選択の優先順位は次のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> 1. HDMI 2. DisplayPort – Eloコンピュータモジュールでは主なビデオ源になる。 コンピュータモジュールが検知されない場合、初期設定のビデオ選択優先順位は次のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> 1. HDMI 2. VGA 3. DisplayPort

Audio Setting (オーディオ設定)	モニターで聞く音源を選択する。音量は消音や消音解除できる。音量のレベルを0-100で変更できる。初期設定：50 コンピュータモジュールがコンセントにつながっていないくて、ビデオ源がHDMIの場合は、オプションはライン入力端子とHDMIである。 初期設定：ライン入力端子 コンピュータモジュールがコンセントにつながっていないくて、ビデオ源がVGAの場合は、オプションはライン入力端子だけである。 コンピュータモジュールがコンセントにつながっている場合（よって、入力ビデオはコンピュータモジュールHDMI）、オプションはEloコンピュータモジュールHDMI、Eloコンピュータモジュールライン入力端子、ライン入力端子である。 初期設定：EloコンピュータモジュールHDMI。
Color Preference (色選好)	ユーザーの好みによって標準モード、ムービーモード、写真モードから選択できる。 初期設定：写真
Other Settings (その他の設定)	OSDメニュー：ここから水平位置、垂直位置、OSD回転、OSDタイマーに変更できる。 言語設定を変更できる。 初期設定の呼出：プリセットの標準にシステムを戻す。 情報：モニターやシステムの情報を表示する。 MDCプロトコル：ユーザーはMDCユーティリティのIICおよびRS232モードから選べる。 サポート/ヘルプ：ヘルプやサポートの情報を提供する。 システム温度：システム温度の情報を提供する。Eloコンピュータモジュールが挿入されていれば、温度情報を表示するセコンダリラインがある。

OSDを通して調整したすべてのタッチモニターは入力したらすぐに自動的に記憶される。この機能によって、タッチモニターのプラグを外したり、電源をオン/オフにするたびにリセットする必要がなくなる。電源異常があっても、タッチモニターの設定は工場仕様に初期設定されません。

OSDおよび電源ロックアウト

「Menu (メニュー)」と「<」ボタンを2秒間同時に押し続けると、OSDロック機能が有効/無効になります。OSDロックが有効化されると、Menu (メニュー)、Up (上へ)、Down (下へ)あるいはSelect (選択) キーを押してもシステムに何の影響もありません。

「Menu (メニュー)」と「>」ボタンを2秒間同時に押し続けると、パワーロック機能が有効/無効になります。パワーロックが有効化されると、電源スイッチを押し続けてもシステムに何の影響もありません。

オーディオ

タッチモニターのライン入力端子、タッチモニターHDMI、タッチモニターDisplayPort、コンピュータモジュールのライン入力端子、あるいはコンピュータモジュールHDMIまたはDisplayPortポートのオーディオはタッチモニターの内蔵スピーカーで再生できます。詳細は「音源」OSDパラメーターを参照してください。ヘッドホンがヘッドホンの出力ジャックに接続している場合、内蔵スピーカーはオフになり、オーディオはヘッドホンから再生されます。

スピーカーの音量とミュート、ヘッドホンの出力はOSDで制御します。

MDC機能

タッチモニターにはホストコンピュータからリモートアクセスする機能があります。IDS Utilities Suite をインストールすると、ユーザーは MDC ツールにアクセスできます。ユーザーは MDC ツールを使ってホスト PC からタッチモニターにさまざまな命令を送信できます。詳細については、ユーティリティスイートのユーザーガイドを参照してください。

RFID機能

3201L/4201L 装置の場合：

モニター内には埋め込み型RFIDアンテナがあります。RFID機能を可能にするには、RFIDリーダーモジュール (www.elotouch.com で入手可能) をインストールして埋め込み型モニターアンテナに接続してください。

ハードウェアやソフトウェアの適切なインストール技術については、RFID 周辺機器のインストールガイドを参照してください。

7001L 装置の場合、外部周辺機器キットを Elo から入手できます。

ドライバのインストール

Elo コンピューターモジュール (ECMG2-i3 あるいは i5) を使用する装置の場合、ドライバはプレインストールされています。

ドライバをホストコンピュータにインストールするには、外付け CD-Rom ドライブが必要です。

ノーオペレーティングシステム (OS) 装置の場合、ドライバは付随のドライバCDに入っており、www.elotouch.com でも入手できます。

Windows オペレーティングシステムの場合

コンピュータが起動した後、次の指示に従ってドライバをインストールしてください。

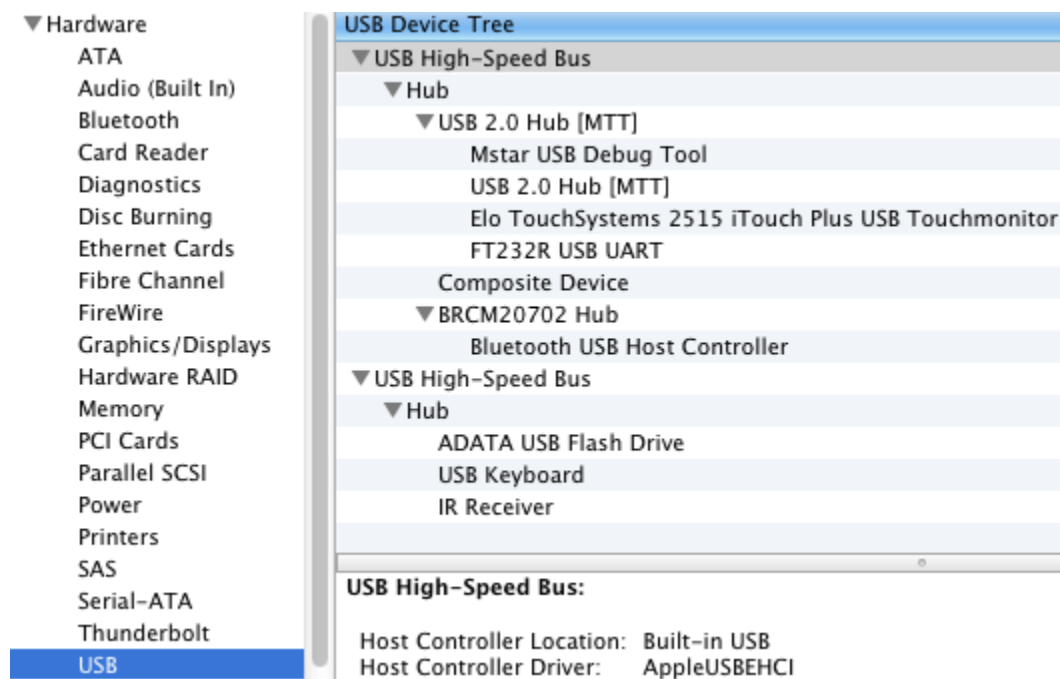
- 外付け CD-Rom ドライブをモニターにインストールしてコンピュータをオンにする。
- ドライバ CD を挿入する。
- OS が起動したら、「My Computer (マイコンピュータ)」を右クリックする。
- Manage (管理) をクリックする。
- Device Manager (デバイスマネージャー) をクリックする。
- 警告ラベルがあるデバイスのひとつを強調表示して「Update Driver (ドライバのアップデート)」をクリックする。
- 「Browse My Computer for Driver Software (マイコンピュータでドライバソフトウェアを検索)」をクリックする。
- CD-Rom ドライブへのパスを選択して「Next (次へ)」をクリックする。
- 装置のソフトウェア部品をインストールして次の装置に進む。
- 警告ラベルがあるすべての装置にこれを実行する。

Mac OS X および Ubuntu バージョン 11 以降の場合、ドライバはシステムがモニターに接続されると自動的にインストールされます。ドライバに関する情報を見つけるには次に従ってください。

注記：Elo TouchSystems Touchmonitor ID はタッチ技術によって異なります。

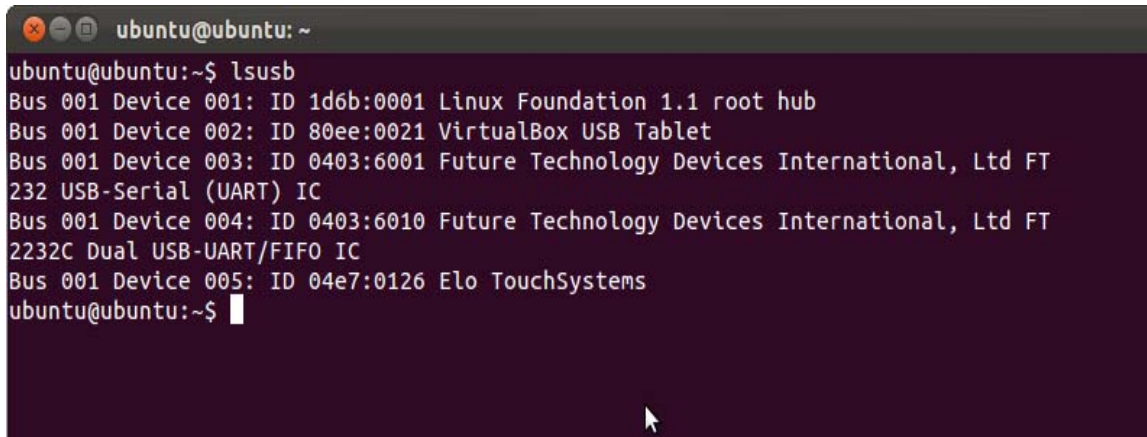
Mac OS X の場合：

- ターミナルウィンドウを開き、ハードウェアの下で USB を選択します。以下のようなスクリーンが表示されます。使用可能な USB 装置が表示されます。



Ubuntu 11 の場合 :

- ターミナルウィンドウを開き、命令に従って「lsusb」とタイプします。以下のようなスクリーンが表示されます。利用可能な **USB** デバイスが表示されます。



```
ubuntu@ubuntu:~$ lsusb
Bus 001 Device 001: ID 1d6b:0001 Linux Foundation 1.1 root hub
Bus 001 Device 002: ID 80ee:0021 VirtualBox USB Tablet
Bus 001 Device 003: ID 0403:6001 Future Technology Devices International, Ltd FT
232 USB-Serial (UART) IC
Bus 001 Device 004: ID 0403:6010 Future Technology Devices International, Ltd FT
2232C Dual USB-UART/FIFO IC
Bus 001 Device 005: ID 04e7:0126 Elo TouchSystems
ubuntu@ubuntu:~$
```

第7章 – 技術サポート

タッチモニターの不具合がある場合、以下の提案を参照してください。

不具合が直らない場合は、最寄のディーラーか、Elo Touch Systems カスタマーサービスまでご連絡ください。

よくある問題の解決方法

問題	提案トラブルシューティング
システムを作動させてもタッチモニターが起動しない	AC電源ケーブルが正しく接続しているか確認してください。AC電源が機能しているか確認してください。
システムをオンにしてもコンピュータモジュールが反応しない	AC電源ケーブルを切断し、コンピュータモジュールが正しくインストールされているか確認してください。AC電源ケーブルを再度接続してください。
モニターの文字がぼやけて見える	OSDを使って輝度を増やしてください。OSDを使ってコントラストを増やしてください。
モニターが空白状態になる	電源表示盤LEDが点滅していれば、モニターかコンピュータモジュールがスリープモードです。キーを押したりマウスを動かしたりタッチスクリーンにタッチして画像が表示されるか確認してください。
モニターに「許容範囲外」が表示される	コンピュータの解像度/タイミングを調整して、Eloウェブサイト www.elotouch.com に表示のタッチモニターの許容範囲内になるように設定してください
タッチの機能が作動しない	コンピュータあるいはEloコンピュータモジュールに最新のドライバがインストールされているか確認してください。詳細はセットアップの章を参照してください。

技術サポート

オンラインのセルフヘルプについては、www.elotouch.com/go/websupport をご覧ください。

技術サポートについては、www.elotouch.com/go/contactsupport をご覧ください。

世界中の技術サポートに関する電話番号については、本ユーザーマニュアルの最後のページをご覧ください。

Windows OS コンピュータモジュールの技術支援はシステムプロパティメニューのサポート情報欄でご覧いただけます。システムプロパティメニューは次の方法でアクセスできます。

1. My Computer (マイコンピュータ) アイコンを右クリックしてドロップダウンメニューからプロパティを選択します。
2. Start (スタート) ボタンをクリックして、Settings (設定) -> コントロールパネル (Control Panel) メニューに行き、システムアイコンを選択します。

第8章 - 安全 & 保守

安全

感電の危険を避けるため、以下の安全上の注意事項に従ってください。また、タッチモニターあるいはコンピュータモジュールはユーザーが修理できるものではありませんので分解しないでください。

絶対に塞いだり物を通気孔スロットに挿入したりしないでください。

タッチモニターは3芯式接地電源コードを装備しており、電源コードのプラグはアース付きコンセントのみに対応します。この目的で構成されていないコンセントにプラグを接続したり変更したりしないでください。破損した電源コードは使用しないでください。タッチモニターに付いて来る電源コードだけを使用してください。許可のない電源コードを使用すると、保証を無効にする場合があります。

インストールの際にはElo Touch Solutionsウェブサイト www.elotouch.com の装置の仕様書に記載の特定環境条件を維持するように実行してください。

輸送/保存の環境条件

温度：

作動	0° C ~ 40° C
保存/運送	-20° C ~ 50° C

湿度（結露なし）：

作動	20% ~ 80%
保存/運送	10% ~ 95%

高度：

作動	0 ~ 658m
保存/運送	0 ~ 12,192m

コンピュータモジュールの注意

指定以外のバッテリーと交換すると爆発の危険がありますので、ご注意ください。使用済みのバッテリーは説明書に従って処分してください。

お手入れ/お取り扱い

タッチモニターが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

- クリーニングの前に **AC 電源ケーブル**を外してください。
- 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせた布を利用してください。
- 液体がタッチモニターの内側に入ったり上面にかかったりしない、十分に注意してください。液体が内側に入ってしまった場合は、資格があるサービス技術者に点検してもらってからもう一度電源を入れてください。
- スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。
- タッチスクリーンをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーをきれいな布やスポンジにつけて使用してください。絶対に、洗剤を直接タッチスクリーンにスプレーしないでください。アルコール（メチル、エチル、イソプロピル）、シンナー、ベンジン、研磨剤などを使用しないでください。



電気装置および電子装置の破棄（WEEE）指令



欧州連合では本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味です。修理やリサイクルのために適切な施設で処理してください。

オペレーティングシステムのリカバリー - Windows 7

何らかの理由で Elo コンピュータモジュールのオペレーティングシステムやソフトウェアのリカバリが必要な場合は 32 ページに記載の Elo Touch Solutions に連絡してください。

注記：リカバリープロセスですべてのデータは削除されます。データやソフトウェアのバックアップやアーカイブはユーザーの責任です。**Elo Touch Solutions**は失われたデータやソフトウェアの責任は負いかねます。

注記：エンドユーザーは **Microsoft Windows** 使用許諾書を必ず順守しなければなりません。

第9章 - 規制情報

I. 電気安全情報：

メーカーのラベルに記載の電圧、周波数、電流などの要件を必ず順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼働、装置への損傷、火災の原因を招く恐れがあります。

本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

装置を主電源に接続する前のインストールについてご質問がある場合は、資格のある電気技師またはメーカーにお問合せください。

II. 放射および電磁波耐性情報

米国内のユーザーに対する通知：本装置は **FCC 規則第 15 章**に定められた **クラス A** デジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。

カナダのユーザーに対する通知：本装置はカナダの業界によって無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関する **クラス A** に適合しています。

欧州連合のユーザーに対する通知：装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

この情報技術機器 (ITE) にはメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、このマークは下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は欧州規格 **EN 55022** クラス **A** の **EMC 指令 89/336/EC**、および欧州規格 **EN 60950** に記載の低電圧指令 **73/23/EC** の要件に従って検査されました。

すべてのユーザーに対する一般情報：本装置は無線周波数エネルギーを発生・使用し、外部に放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けたり利用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性があります。場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

1) 放射および電磁波耐性の要件に見合うため、ユーザーは下記事項を順守してください。

a) 本デジタル装置と他のコンピューターを接続する場合は、付属の I/O ケーブルのみを使用してください。

b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。

c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない装置を変更・修正すると、ユーザーは装置の操作権利を失う場合がありますのでご注意ください

2) 本装置が無線あるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合：

a) 装置の電源をオフ/オンにして放射元を確認してください。

本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください。

- i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。
 - ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置（向きを変える）する。
 - iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナを再配置する。
 - iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違う AC コンセントに差し込む。
 - v) デジタル装置が使用しない一切の I/O ケーブルの接続を切って取り除く。（愁嘆処理していない I/O ケーブルは、電波周波数の放出レベルを増す可能性がある。）
 - vi) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。AC アダプタープラグを使用しないこと。（接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があり、ユーザーに致命的な感電の危険を及ぼす可能性もある。）
- さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

III. 検定代行機関

以下の認証は本モニター用に発行されています。

アルゼンチン **S** マーク
オーストラリア **C-Tick**
カナダ **CUL**
カナダ **IC**
中国 **CCC**
中国 **RoHS**
欧州 **CE**
日本 **VCCI**
メキシコ **NOM**
ロシア& CIS **GOST**
米国 **FCC**
米国 **UL**

第10章 - 保証情報

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がりに欠陥がないことを買い手に保証します。TouchMonitor、コンピュータモジュールなどの製品部品の保証は三（3）年間とします。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者は、常時および時折、製品または部品として出荷した部品の変更を行うことがあります。

上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に（どのような場合でも発見から三十（30）日以内に）書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手による書面の指示があった場合を除いて、通知はそのような製品の保証期間内に売り手が受領する必要があります。そのような通知を送付してから三十（30）日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用および危険で売り手宛に発送しなければなりません。

不良品であるとされている製品を受領してから、および売り手が上記の保証を製品が満たしていないという確認をしてから適度な期間内に、売り手は (i) 製品の修理あるいは変更、(ii) 製品の交換 のどちらかの方法によってそのような不良品を修正しなければなりません。製品のそのような変更、修理、交換、および返却する際には買い手に対して最低の保険を含み、費用は売り手側が支払うこととします。製品発送中に起きる紛失あるいは損傷の危険は買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は製品の返品にかかった郵送料を売り手から払い戻し請求できますが、売り手が不良品でないと判断した場合は払い戻し請求はできません。製品の変更、修理は売り手のオプションによって行い、売り手の施設か買い手の敷地のどちらかで行います。売り手が上記の保証に適合した製品の変更、修理、交換を提供できない場合は、売り手は売り手のオプションによって製品購入価格から買い手が提示する保証期間の定額減価償却を差し引いた額を買い手に払い戻すか、買い手の口座に入金する必要があります。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻すことに限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接的、偶発的な損傷などの責任を負いません。

買い手は危険を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しかつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しかつ受理します。買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など（妥当な弁護士料金を含む）同様のものに対して損害を売り手に与えません。

当社のウェブサイトをご確認ください。

www.elotouch.com

以下の最新情報をご覧ください。

- [製品別情報](#)
 - [仕様](#)
 - [次回イベントに関するニュース](#)
 - [プレスリリース](#)
 - [ソフトウェアドライバ](#)
 - [TouchMonitor についてのニュースレター](#)
-

Elo 社へのお問い合わせ

Elo 社のタッチリユースIONに関する詳細については、弊社のウェブサイト www.elotouch.com をご覧いただくか、最寄りのオフィスまでご連絡ください。

North America

Elo Touch Solutions
301 Constitution Drive
Menlo Park, CA 94025

電話 800-ELO-TOUCH
電話 800-557-1458
電話 650-361-4800
Fax 650-361-4722
customerservice@elotouch.com

ラテンアメリカ

電話 786-923-0251
Fax 305-931-0124
www.elotouch.com.ar

欧州

電話+32(0)(16)35-2100
Fax +32(0)(16)35-2101
elosales@elotouch.com

アジア太平洋電話

+81(45)478-2161
Fax +81(45)478-2180
www.tps.co.jp

Copyright 2012 Elo Touch Solutions, Inc. 無断複写・転載を禁じます。